

委員会審議		令和元年 10 月 17 日
申請者	地域医療連携室副看護師長	小林 美晴
1	多職種連携の事例から当チームにおける協働のあり方についての検討	
研究の概要	<p>○目的 事事例を通して患者に関わる多職種ごとの介入プロセスを振り返り、連携に対しどのような不安や思いで関わったかを分析することで当チームにおける協働の実態を明らかにし、当院のチーム医療の発展に繋げる。</p> <p>○対象及び方法 対象：介入を実施した事例より 1 例選択 研究方法： (1) 調査期間：2019 年 10 月倫理審査承認後より 2019 年 12 月とする。 (2) データ収集方法 研究デザイン：質的研究 研究対象：介入を実施した事例より 1 例選択し、この事例に関わった職種全て。 データ収集方法は質問紙調査法とし、退院支援の事例から関わった職種にアンケート調査を行う。質問紙の情報は職種、職年数を記載、退院支援に関わった職種と回数、その内容について選択式、自由記載で記載してもらう。質問紙の項目は以下とする。 ① 多職種協働について関心がありますか。それはなぜですか。 ② 多職種協働について悩むことはありますか。それは具体的にどのような事ですか。 ③ 当チームの多職種連携に満足していますか。それはなぜですか。 ④ 本事例に関わった職種（患者を含む）は誰ですか。 ⑤ それぞれの関わりの具体的内容はどのようなものですか。 ⑥ その関りでは自分は専門職としての役割を發揮できましたか。それはなぜですか。 ⑦ その関りの中で感じた不安や思いはありますか。それはどのようなものですか。 ⑧ 多職種協働にはリーダーが必要だと思いませんか。 ⑨ 「思う」と回答された方に伺います。その職種はなんですか。 ⑩ 多職種協働について研修や講義を受けたことがありますか。 ⑪ あなたの描く多職種協働とは何ですか。 質問紙配布、回収方法は本事例介入終了後に対象者へ質問紙について説明し、それぞれ封筒とともに配布する。回答期限は 2 週間とする。患者基礎情報は年齢性別、疾患名を電子カルテ内の記録から抽出する。</p> <p>○データ分析方法 (1) 介入回数:単純数値比較 (2) 項目ごとに記載された内容をカテゴリー化し分析する。</p> <p>○) 実施場所及び実施期間 茨城東病院、地域医療連携室の電子カルテ及び PC で情報整理を行う。 研究期間：2019 年 10 月倫理審査承認後から 2021 年 3 月までとする。 データ収集期間：2019 年 10 月倫理審査承認後より 2019 年 12 月とする。</p>	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された

委員会審議		令和元年 10 月 17 日
申請者	診療看護師	川崎 竹哉
2	呼吸器外科手術患者における PICC の使用経験	
研究の概要	<p>○目的 呼吸器外科患者における PICC の使用経験から、挿入の利点・欠点について 検討する。</p> <p>○対象及び方法 肺がんと診断された 2015 年 8 月から 2016 年 7 月までの PICC 未挿入 105 症例（肺葉切除 53 症例、肺部分切除 52 症例）と、2016 年 8 月から 2017 年 7 月までの PICC 挿入 77 症例（肺葉切除 42 症例、肺部分切除 35 症例）を対象とする。</p> <p>① 抽出項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 挿入部位 2) 麻酔・手術時間 3) 麻酔開始から執刀までの時間 4) 術後合併症 5) 手術実施から退院までの日数 6) 血液データ <p>1)～6)を PICC 挿入群と末梢静脈留置針挿入群で比較した。</p> <p>②患者アンケート 連結不可能匿名化</p> <p>②看護師アンケート 連結不可能匿名化</p> <p>○実施場所及び実施期間 場所：アンケート記載に関する場所の特定はなし。 期間：研究期間は倫理審査承認後～2019 年 12 月（データ収集期間は 2015 年 8 月から 2017 年 7 月）とする。</p>	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された